

もしも道具がなくても、いつものようにドリップコーヒーでリラックス



袋は厚さ5ミリほど。単一生産者のコーヒーだけを扱うなど、品質にも配慮。左から、フェアトレード認定や欧州で有機栽培認定を受けたコーヒーシリーズ(税込336円、以下同)。良質のコーヒーを選んだ「スペシャリティ」シリーズ(315円)。コーヒーの品評会で受賞歴がある農園の豆のみを使用した「ファインスペシャリティ」シリーズ(420円から)

## どんな場所でもコーヒー3杯分

家庭やオフィスで、キャンプや山登りなどアウトドアで、そして災害時など緊急の際にでも、心を落ち着けたいときにはいたてのおいしいコーヒーが欲しい人は多いだろう。お湯とカップさえあれば、どんな状況でもドリップ式のコーヒーが飲めるのが、このグロウズカップだ。B5判ほどの薄いノートサイズの袋にコーヒー豆が入っており、フィルターとパッケージと一体化されている。袋を開け、お湯を上から入れて口を閉じて数分蒸らす。そして、袋を開けたときに一緒に破った注ぎ口からカップに移

せば、普段どりのいれたてのコーヒーが飲める。

もともとは、デンマークでアウトドア用品として生まれたこの製品。単一農園のコーヒーのみを使い、品評会で賞を取ったコーヒーを使った高級ラインを用意するなど、コーヒーの品質に配慮した商品作りが特徴だ。パッケージに貼るラベルはワインのエチケットを参考に、産地やそのクオリティーを分かりやすく伝えられるようデザインされている。

コーヒーは、1人で飲むだけではなく、誰かと一緒に飲むためのコミュニケーションツールでもある。その品質をきちん

と伝えられるラベルがあることで、一緒に飲む人とのちょっとした会話の糸口が生まれそうだ。

1袋で500ミリリットル、およそ3杯分のコーヒーを抽出できる。価格は315円からで、1杯分は105円からという価格設定とした。

### 細部のデザインに工夫を

今回の審査で、審査員からは製品のコンセプトに対する共感もあったものの、細部のデザインに対してさらに配慮する必要性を指摘する声が上がった。

1つは、注ぎ口と持ち手のデザインの

アンバランス。やけどをしないようにパッケージ右側の出っ張った部分を持ち、左側の凹んだ部分の根元からコーヒーを注ぐ。

しかし、一見するとむしろ右側の出っ張った先からコーヒーを注ぐようなデザインに見える。また、コーヒーをカップに移すとき、注ぎ口からコーヒーが垂れやすい。この点について、審査員から改善の必要があると指摘を受けた。

現在、メーカー自身もこの問題を改良すべく、新しいパッケージを開発中だと言う。樹脂製の注ぎ口を取り付けた商品を今後展開していく予定だ。



袋を開けて上からお湯を注ぎ、口を閉めて蒸らす。その後袋前面の口からコーヒーを注ぐ。500mlのコーヒーを抽出できる